

平成26年度



# 当初予算の概要

---

平成26年度 当初予算の基本的方向	1		
I 会計別当初予算の編成状況	2		
II 一般会計当初予算の概要	4		
1 歳入の特徴	6	【一般会計当初予算グラフ】	9
2 歳出の特徴	8	【資料編】	10
当初予算主要事業	12		
1 大竹を愛する人づくり	12	6 行政・社会の仕組みづくり	26
2 生活基盤が整ったまちづくり	14	7 住みたい、住んでよかったと感じるまち	28
3 安全なまちづくり	18	◎ 生活環境整備実施MAP	29
4 安心できるまちづくり	20	◎ 各施設のご案内	30
5 心にゆとりを感じるまちづくり	25	問い合わせ先一覧	32

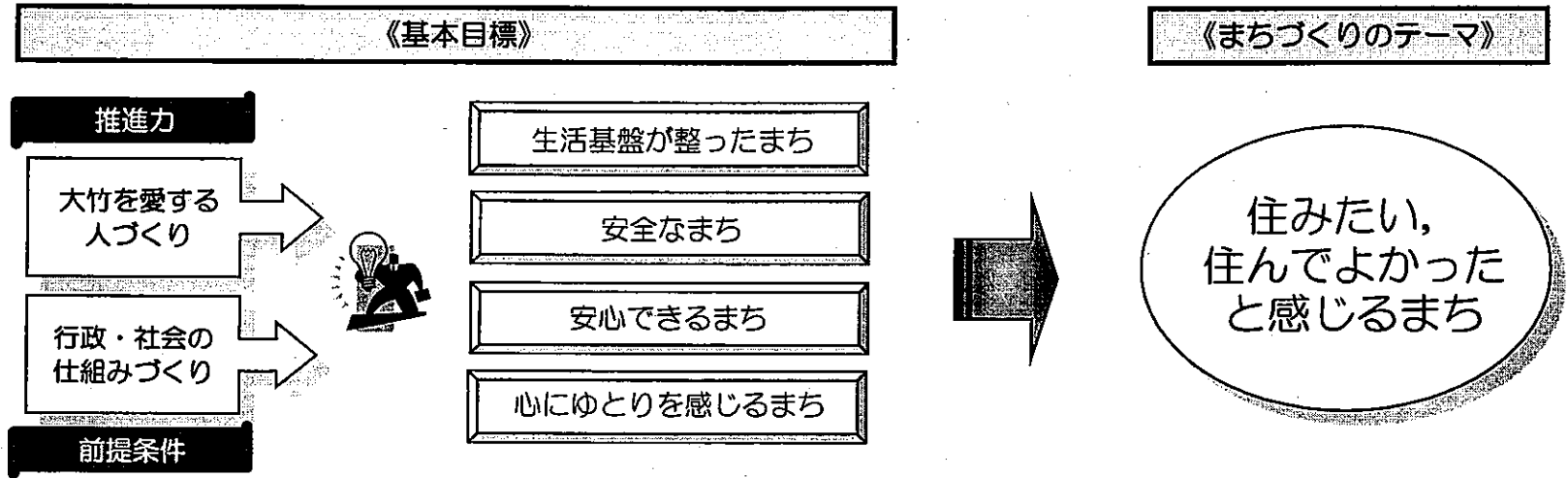
---

大 竹 市



# 平成26年度当初予算の基本的方向

1 第五次大竹市総合計画では、基本構想において「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をまちづくりのテーマとして設定しています。市民のみなさんが考える「よいまち」の実現に向けた施策を展開していきます。



2 予算編成にあたっては、市民の皆様が幸せを感じながら生活していただけるよう、総合計画を基軸とした事業を継続して行うことを基本方針として編成しました。

新規の事業は極力控える中で、行政の継続性、市民生活への影響を考慮し、経常的な事業や、「大竹を愛する人づくり」をはじめとする総合計画を推進するために必要な継続的事业、国・県との信頼関係の中で「大竹市」としてどうしても実施していく必要がある事業を行います。

普通建設事業などの大規模な事業については、駐留軍等再編交付金をはじめとする財源を有効に活用しつつ、将来的に安定したまちづくりのための財政の枠組みを保つ行政運営を行います。

## I 会計別当初予算の編成状況

一般会計の予算規模は、135億7,284万8千円で、前年度に比べ0.7%の減となりました。一方、7つの特別会計の合計は、78億5,556万7千円で、前年度に比べ2.4%の増となりました。一般会計と特別会計の合計は214億2,841万5千円で、前年度に比べ0.4%の増となっています。

一般会計は、障害福祉サービス給付費などの扶助費や臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金支給事業に係る経費などが増加したものの、工場等設置奨励事業が終了したことや人件費が減少したことなどにより減少し、全体では前年度比0.7%減の予算となりました。

### ◎◎◎ 会計別予算 ◎◎◎

単位:千円, %

	26年度	25年度	対前年度比	
			増減額	増減率
一般会計	13,572,848	13,669,310	▲ 96,462	▲ 0.7
特別会計	7,855,567	7,673,777	181,790	2.4
1 国民健康保険特別会計	3,821,324	3,705,284	116,040	3.1
2 漁業集落排水特別会計	31,339	32,349	▲ 1,010	▲ 3.1
3 農業集落排水特別会計	46,057	43,973	2,084	4.7
4 港湾施設管理受託特別会計※	45,954	60,762	▲ 14,808	▲ 24.4
5 土地造成特別会計	835,784	833,608	2,176	0.3
6 介護保険特別会計	2,664,866	2,585,248	79,618	3.1
7 後期高齢者医療特別会計	410,243	412,553	▲ 2,310	▲ 0.6
合計	21,428,415	21,343,087	85,328	0.4

※ 25年度は「港湾及び漁港施設管理受託特別会計」

### 《企業会計》

単位:千円, %

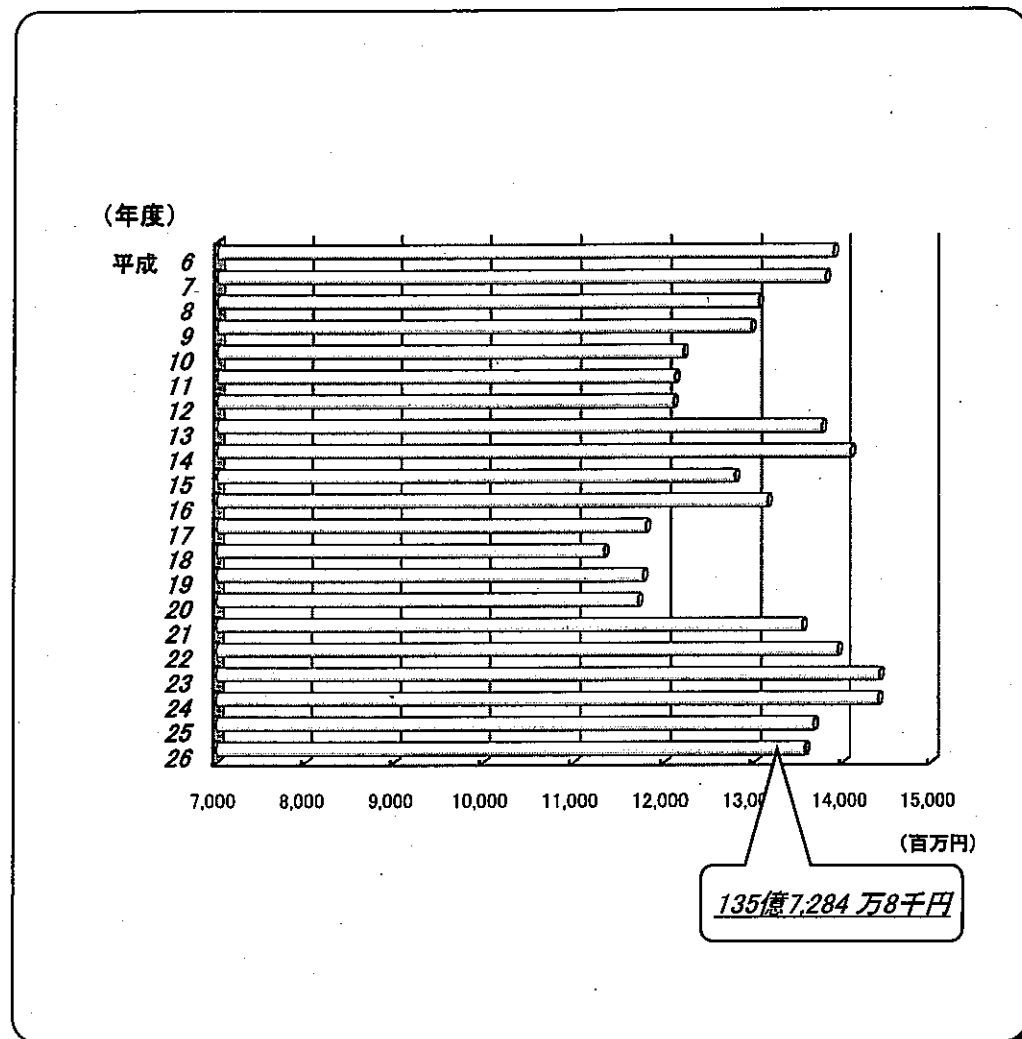
		26年度	25年度	対前年度比	
				増減額	増減率
水道事業会計					
収益的	収入	570,430	518,767	51,663	10.0
	支出	621,278	517,724	103,554	20.0
資本的	収入	52,775	62,518	▲ 9,743	▲ 15.6
	支出	171,610	167,385	4,225	2.5
工業用水道事業会計					
収益的	収入	554,741	492,872	61,869	12.6
	支出	576,320	518,068	58,252	11.2
資本的	収入	213,901	192,517	21,384	11.1
	支出	467,721	437,277	30,444	7.0
公共下水道事業会計					
収益的	収入	1,015,279	772,601	242,678	31.4
	支出	934,552	766,852	167,700	21.9
資本的	収入	282,568	432,004	▲ 149,436	▲ 34.6
	支出	575,253	712,098	▲ 136,845	▲ 19.2

### 【一般会計当初予算の推移】

単位:千円, %

年度	当初予算規模	対前年度伸び率	《参考》最終予算額
6	13,889,956	▲ 14.5	13,870,385
7	13,803,861	▲ 0.6	14,581,664
8	13,048,192	▲ 5.5	14,050,875
9	12,965,635	▲ 0.6	13,223,610
10	12,211,020	▲ 5.8	14,427,535
11	12,121,383	▲ 0.7	14,456,844
12	12,102,194	▲ 0.2	12,324,258
13	13,761,143	13.7	15,373,572
14	14,087,867	2.4	14,265,959
15	12,786,158	▲ 9.2	12,032,324
16	13,148,777	2.8	13,364,554
17	11,803,360	▲ 10.2	12,440,260
18	11,338,627	▲ 3.9	11,692,281
19	11,770,193	3.8	12,269,904
20	11,716,260	▲ 0.5	12,798,330
21	13,541,552	15.6	15,270,309
22	13,939,452	2.9	14,545,921
23	14,417,001	3.4	14,995,090
24	14,400,188	▲ 0.1	14,998,838
25	13,669,310	▲ 0.1	※ 14,068,289
26	13,572,848	▲ 0.7	—

※ 3月補正後の見込み額を計上



## II 一般会計当初予算の概要

第五次総合計画の基本構想で掲げるまちづくりのテーマ「住みたい、住んでよかったと感じるまち」の基本目標として、「生活基盤が整ったまち」「安全なまち」「安心できるまち」「心にゆとりを感じるまち」づくりに向けた施策を中心に編成しました。

障害福祉サービス給付費などの扶助費や臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金給付事業に係る経費などが増加したものの、工場等設置奨励事業が終了したことや人件費が減少したことなどにより予算規模は減少し、全体では前年度比0.7%の減となりました。

これまでと同様に「大竹を愛する人づくり」をすすめるとともに、市民自治に関する事業や「健康」に対する予防施策に重点的に財源の配分を行うことで、将来の行政需要の増加の抑制に努めていきます。

また、一般会計から土地造成特別会計への支援を、平成18年度から行っています。平成26年度も引き続き、大竹工業団地及び小方ヶ丘団地からの税収を財源とする支援に加え従来支援分を土地造成特別会計に繰り出すことによる、特別会計の財政の健全化を図るなどの「行政・社会の仕組みづくり」についても、これまでと同様に続けていきます。

## ◎◎◎ 歳入予算(一般会計) ◎◎◎

単位:千円, %

	26年度		構成比	25年度	対前年度比	
					増減額	増減率
1 市 税	5,350,667	39.4		5,440,354	▲ 89,687	▲ 1.6
2 地 方 譲 与 税	70,683	0.5		76,247	▲ 5,564	▲ 7.3
3 利 子 割 交 付 金	10,818	0.1		10,311	507	4.9
4 配 当 割 交 付 金	13,737	0.1		6,498	7,239	111.4
5 株式等譲渡所得割交付金	4,313	0.0		1,659	2,654	160.0
6 地方消費税交付金	335,965	2.5		272,908	63,057	23.1
7 自動車取得税交付金	13,241	0.1		23,667	▲ 10,426	▲ 44.1
8 地方特例交付金	12,983	0.1		11,254	1,729	15.4
9 地 方 交 付 税	1,244,275	9.2		1,447,650	▲ 203,375	▲ 14.0
10 交通安全対策特別交付金	4,946	0.0		5,218	▲ 272	▲ 5.2
11 分担金及び負担金	245,945	1.8		233,637	12,308	5.3
12 使用料及び手数料	302,838	2.2		311,753	▲ 8,915	▲ 2.9
13 国 庫 支 出 金	1,879,100	13.9		1,758,311	120,789	6.9
14 県 支 出 金	674,300	5.0		685,379	▲ 11,079	▲ 1.6
15 財 産 収 入	85,428	0.6		51,753	33,675	65.1
16 寄 附 金	4	0.0		72,003	▲ 71,999	▲ 100.0
17 繰 入 金	840,070	6.2		881,203	▲ 41,133	▲ 4.7
18 繰 越 金	1	0.0		1	0	0.0
19 諸 収 入	526,192	3.9		547,197	▲ 21,005	▲ 3.8
20 市 債	1,957,342	14.4		1,832,307	125,035	6.8
合 計	13,572,848	100.0		13,669,310	▲ 96,462	▲ 0.7

◎◎◎ 歳出予算(一般会計)(目的別内訳) ◎◎◎

単位:千円, %

	26年度	構成比	25年度	対前年度比	
				増減額	増減率
1 議会費	197,549	1.5	196,523	1,026	0.5
2 総務費	1,493,876	11.0	1,561,613	▲ 67,737	▲ 4.3
3 民生費	4,096,329	30.2	3,777,605	318,724	8.4
4 衛生費	1,098,542	8.1	1,122,052	▲ 23,510	▲ 2.1
5 労働費	135,850	1.0	141,852	▲ 6,002	▲ 4.2
6 農林水産業費	239,236	1.8	179,810	59,426	33.0
7 商工費	263,930	1.9	463,061	▲ 199,131	▲ 43.0
8 土木費	2,530,566	18.7	2,701,383	▲ 170,817	▲ 6.3
9 消防費	513,929	3.8	502,873	11,056	2.2
10 教育費	915,179	6.7	957,882	▲ 42,703	▲ 4.5
11 災害復旧費	5	0.0	4	1	25.0
12 公債費	2,067,857	15.2	2,044,652	23,205	1.1
13 予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
合計	13,572,848	100.0	13,669,310	▲ 96,462	▲ 0.7

▼▲▼ 歳出の性質別分析(一般会計)▼▲▼

単位:千円, %

	26年度	構成比	25年度	対前年度比	
				増減額	増減率
人件費	2,423,619	17.9	2,545,046	▲ 121,427	▲ 4.8
扶助費	2,162,730	16.0	1,989,839	172,891	8.7
公債費	2,067,857	15.2	2,044,652	23,205	1.1
義務的経費計	6,654,206	49.1	6,579,537	74,669	1.1
普通建設事業費	1,863,512	13.7	2,045,914	▲ 182,402	▲ 8.9
うち補助事業	565,658	4.2	831,913	▲ 266,255	▲ 32.0
うち単独事業	1,297,854	9.5	1,214,001	83,853	6.9
災害復旧事業費	5	0.0	4	1	25.0
投資的経費計	1,863,517	13.7	2,045,918	▲ 182,401	▲ 8.9
物件費	1,950,939	14.4	1,797,403	153,536	8.5
維持補修費	248,679	1.8	257,590	▲ 8,911	▲ 3.5
補助費等	942,860	6.9	1,050,394	▲ 107,534	▲ 10.2
繰出金	1,312,960	9.7	1,350,565	▲ 37,605	▲ 2.8
投資及び出資金	0	0.0	0	0	0.0
貸付金	392,663	2.9	396,430	▲ 3,767	▲ 1.0
積立金	187,024	1.4	171,473	15,551	9.1
予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
その他の経費計	5,055,125	37.2	5,043,855	11,270	0.2
合計	13,572,848	100.0	13,669,310	▲ 96,462	▲ 0.7

# 1 歳入の特徴

【一般財源】 対前年度 220.8百万円減(▲2.5%)

単位:百万円, %

◎ 国の示した26年度の地方財政計画では、一般財源総額を25年度とほぼ同水準としています。

◎ 大竹市では、26年度の市税と地方交付税(臨時財政対策債を含む)の合計は、臨時財政対策債が増加したものの、市税及び地方交付税が減少し、合計額では前年度比1.7%の減となりました。

◎ 一般財源の総額は、2.5%の減となる見込みです。  
(この一般財源総額のうち、「貯蓄の取り崩し」にあたる財政調整基金と減債基金からの繰入金441百万円(25年度は577百万円)を除いても1.0%の減となります。)

	26年度	25年度	増減率
市税	5,350.7	5,440.4	▲ 1.6
地方交付税	1,244.3	1,447.7	▲ 14.0
臨時財政対策債	885.9	723.7	22.4
小計	7,480.9	7,611.8	▲ 1.7
その他	1,037.0	1,126.9	▲ 8.0
一般財源総額	8,517.9	8,738.7	▲ 2.5

【地方交付税】 対前年度 203.4百万円減(▲14.0%)

◎ 国の示した25年度の地方財政計画では、地方交付税は前年度比1.0%の減となっています(地方税などを合わせた一般財源は1.0%の増)。

◎ 大竹市の地方交付税は、当初予算比で14.0%の減を見込んでいます。  
なお、25年度は市税の増収などの影響により、当初予算額を下回る見込みです。

【市 税】 対前年度 89.7百万円減(▲1.6%)

単位:百万円, %

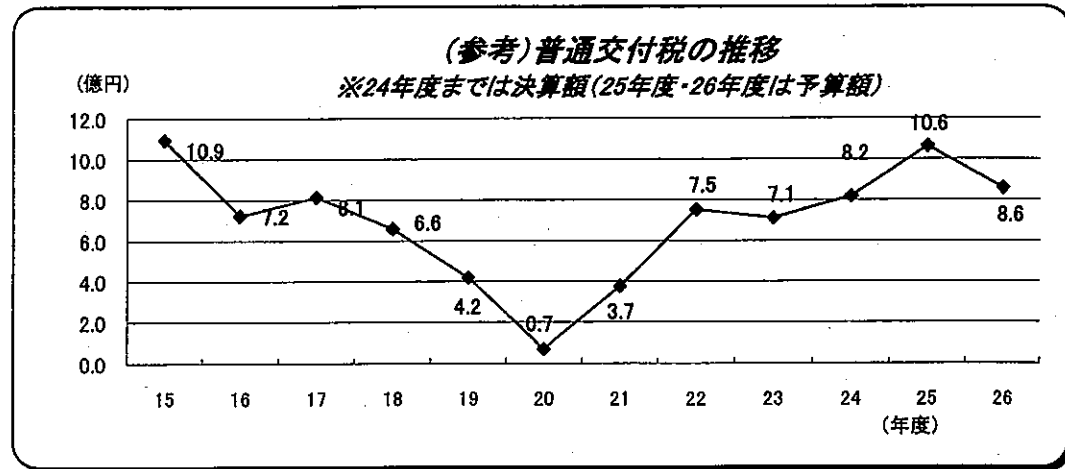
◎ 26年度の市税は、軽自動車税が微増するものの、固定資産税、法人市民税などの減収により25年度に比べ1.6%の減と見込んでいます。

◎ 法人市民税は、25年度に比べ4.1%の減となる見込みです。

◎ 固定資産税は、市内企業の設備投資があるものの、減価償却による帳簿価格下落の影響で、前年度に引き続き償却資産分が減額となる見込みです。

	26年度	25年度	増減率
市民税(個人)	1,275.6	1,281.2	▲ 0.4
(法人)	403.2	420.3	▲ 4.1
固定資産税	3,278.7	3,337.9	▲ 1.8
軽自動車税	53.3	51.4	3.7
市たばこ税	195.4	204.8	▲ 4.6
都市計画税	144.5	144.8	▲ 0.2
市税合計	5,350.7	5,440.4	▲ 1.6

※資料編(P10)に市税収入の推移のグラフあり





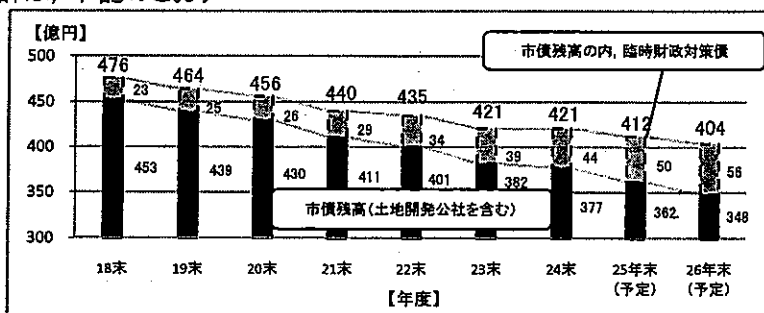
【市債】対前年度 125.0百万円増(+6.8%)

単位:百万円, %

- ◎ 木野集会所建設事業や晴海臨海公園整備事業などの起債が減少したものの、地方交付税の補てん分として発行する臨時財政対策債などが増加したため、前年度比6.8%の増となりました。  
 なお、土地開発公社を含めた市債残高の合計は、下記のとおりです。

	26年度	25年度	増減率
通常債(建設債)	1,071.4	1,108.6	▲ 3.4
臨時財政対策債	885.9	723.7	22.4
市債合計	1,957.3	1,832.3	6.8

※資料編(P11)に市債発行額(普通会計)、市債残高(普通会計)の推移のグラフあり



【基金繰入金】対前年度 38.6百万円減(▲4.5%)

単位:百万円, %

- ◎ 「市の純粋な貯蓄」というべき財政調整基金と減債基金の残高合計は、24年度末で約1,235.1百万円です。  
 なお、26年度当初予算では、合計で440.7百万円の取り崩しを見込んでいます。

	26年度	25年度	増減率
財政調整基金	110.7	197.0	▲ 43.8
減債基金	330.0	380.0	▲ 13.2
その他の基金	384.1	286.4	34.1
基金繰入金合計	824.8	863.4	▲ 4.5

※資料編(P10)に財政調整基金残高の推移のグラフあり

【その他の主な歳入の増減】

**国庫支出金** (増の要因)  
 120.8百万円増 (+6.9%)  
 ・自立支援給付費国庫負担金の増  
 ・番号制度システム整備事業国庫補助金の皆増  
 ・臨時福祉給付金国庫補助金の皆増  
 ・子育て世帯臨時特例給付金給付事業費国庫補助金の皆増

(減の要因)  
 ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金の減  
 ・社会資本整備総合交付金の減

**県支出金** (増の要因)  
 11.1百万円減 (▲1.6%)  
 ・広島県議会議員選挙費県負担金の皆増  
 ・自立支援給付費県負担金の増  
 ・国民健康保険基盤安定県負担金の増

(減の要因)  
 ・衆議院議員選挙費県負担金の皆減  
 ・広島県知事選挙費県負担金の皆減  
 ・森林整備加速化林業再生基金事業県補助金の皆減  
 ・緊急雇用対策基金事業県補助金の減

**寄附金** (減の要因)  
 72.0百万円減 (▲100.0%)  
 ・一般寄附金の減

- ◎ 再編交付金をもとに積み立てた各種基金(阿多田診療所基金、にこにここども基金、健やか安心基金、高度情報化基金、教育環境充実基金、公共交通活性化基金)についても、貴重な財源として計画的に活用します。  
 その他、特定の目的のために使うことができる基金についても計画的に活用します。

## 2 歳出の特徴

### 《性質別分析》

【義務的経費】 対前年度 74.7百万円増(+1.1%)

単位:百万円, %

◎ 人件費は、広島県市町総合事務組合負担金(退職手当)の減少などにより、前年度比4.8%減少しています。

◎ 扶助費は、障害福祉サービス給付費などの増加により、前年度比8.7%増加しています。

◎ 公債費は、22年度に発行した大竹小学校改築事業債や臨時財政対策債などの元金償還の開始により、前年度比1.1%の増加となっています。

	26年度	25年度	増減率
人件費	2,423.6	2,545.0	▲ 4.8
扶助費	2,162.7	1,989.8	8.7
公債費	2,067.9	2,044.7	1.1
義務的経費計	6,654.2	6,579.5	1.1

※資料編(P10, 11)に人件費及び公債費の推移のグラフあり

【投資的経費】 対前年度 182.4百万円減(▲8.9%)

単位:百万円, %

◎ 投資的経費は、木野集会所建設事業や晴海臨海公園整備事業などの減により、前年度比8.9%の減少となっています。

◎ 市道の整備・改良事業については、優先順位に基づき計画的に実施しています。

◎ 投資的経費については、後年度の負担が過度に増加しないように考慮しつつ、必要な新規事業は財源を確保した上で取り組む方針です。

	26年度	25年度	増減率
普通建設事業費	1,863.5	2,045.9	▲ 8.9
うち補助事業	565.7	831.9	▲ 32.0
うち単独事業	1,297.8	1,214.0	6.9
災害復旧事業費	0.0	0.0	0.0

※資料編(P11)に投資的経費の推移のグラフあり

### 《目的別内訳》

議会費 (増の要因) ・議員共済組合負担金の増

1.0百万円増  
(+0.5%)

総務費

(増の要因) ・戸籍総合システムデータ移行業務委託料の増  
・市長選挙費、農業委員会委員選挙費の皆増  
(減の要因) ・広島県市町総合事務組合負担金の減  
・木野集会所建設工事の減  
・土地鑑定評価業務委託料の減  
・参議院議員選挙費・広島県知事選挙費の皆減

67.7百万円減  
(▲4.3%)

民生費

(増の要因) ・臨時福祉給付金支給事業の皆増  
・障害福祉サービス給付費の増

318.7百万円増  
(+8.4%)

(減の要因) ・ゆうあいの里屋根防水・外壁改修工事の皆増  
・子育て世帯臨時特別給付金支給事業の皆増  
・後期高齢者療養給付費負担金の減

衛生費

(増の要因) ・健やか安心基金積立金の増  
・斎場火葬炉設備補修工事の皆増

23.5百万円減  
(▲2.1%)

(減の要因) ・公衆便所設置事業の皆減  
・旧指定ごみ袋買い戻し代金・旧指定ごみ袋交換差額補填金の皆減

労働費

(減の要因) ・緊急雇用対策事業の減

6.0百万円減  
(▲4.2%)

農林水産業費

(増の要因) ・阿多田地区水産業基盤整備工事の皆増  
・漁港施設維持管理事業の皆増

59.4百万円増  
(+33.0%)

商工費

(減の要因) ・工場等設置奨励金の皆減

199.1百万円減  
(▲43.0%)

土木費

(増の要因) ・玖波駅西口整備事業の増  
(減の要因) ・土地造成特別会計繰出金の減

170.8百万円減  
(▲6.3%)

・大竹駅東口整備事業の減  
・晴海臨海公園整備事業の減  
・住宅施設改修工事の減

消防費

(増の要因) ・ポンプ付救助工作車の皆増  
(減の要因) ・防災行政無線整備工事の減

11.1百万円増  
(+2.2%)

教育費

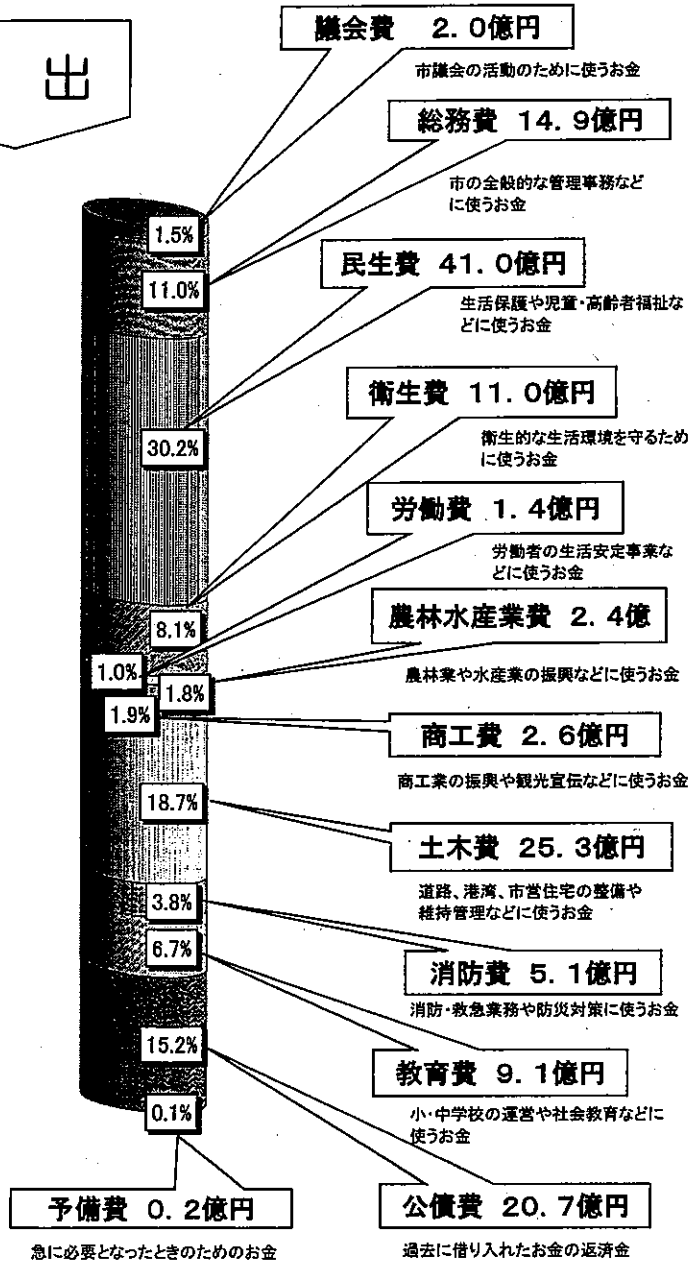
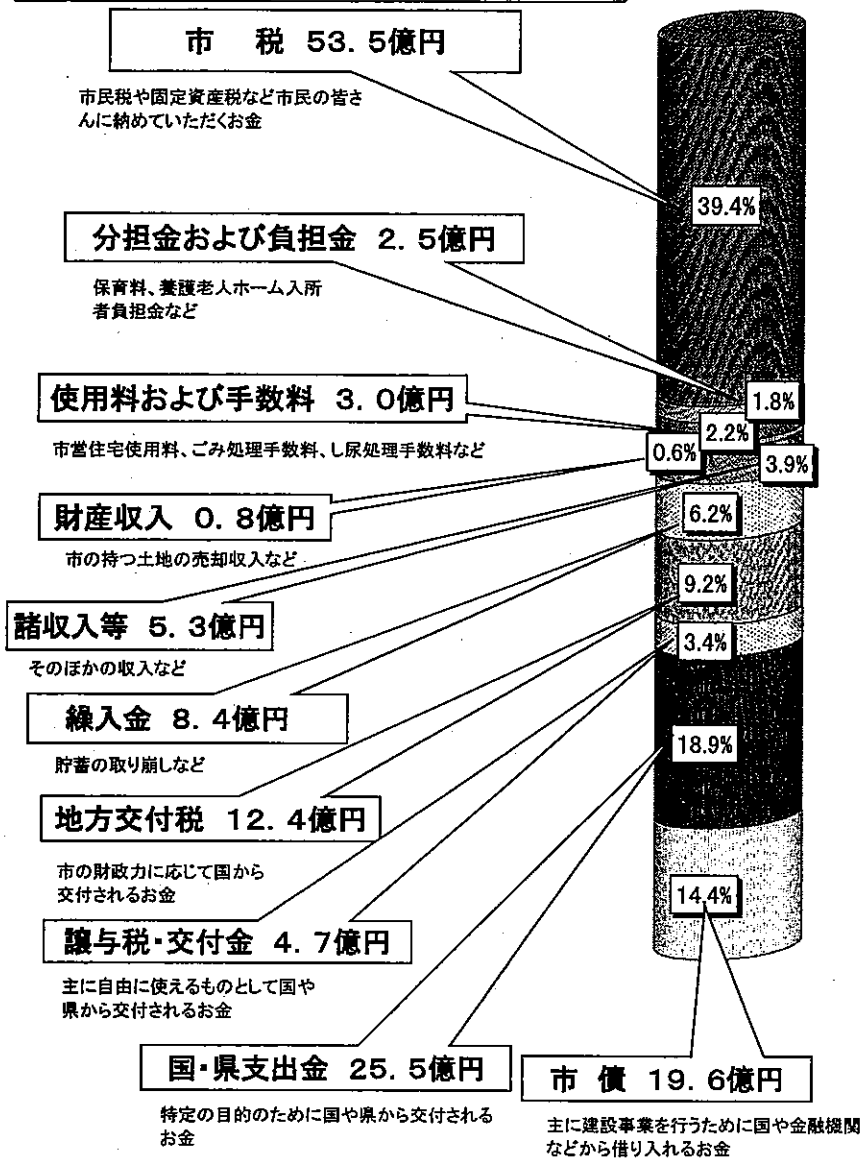
(減の要因) ・大竹小学校給食棟解体・グラウンド整備等工事の皆減

42.7百万円減  
(▲4.5%)

# 一般会計当初予算 総額 135.7億円

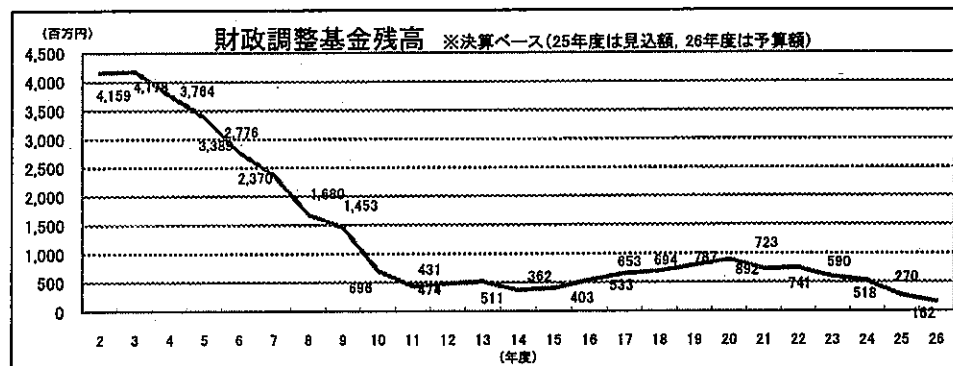
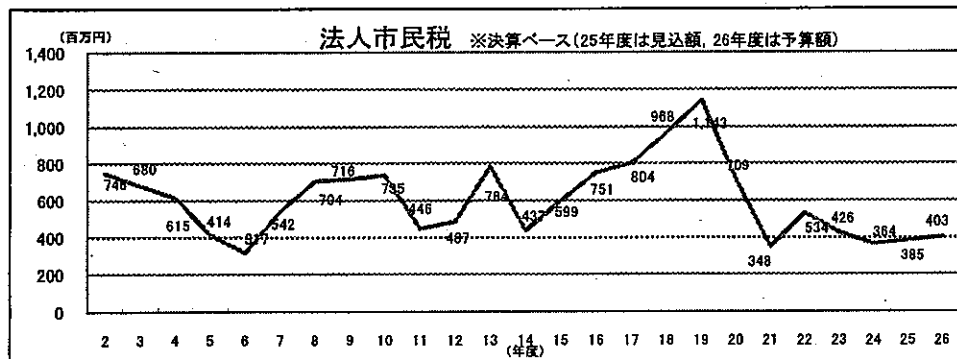
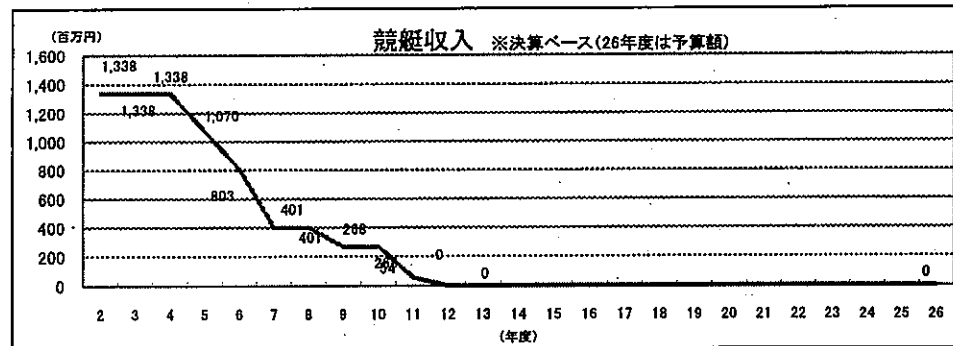
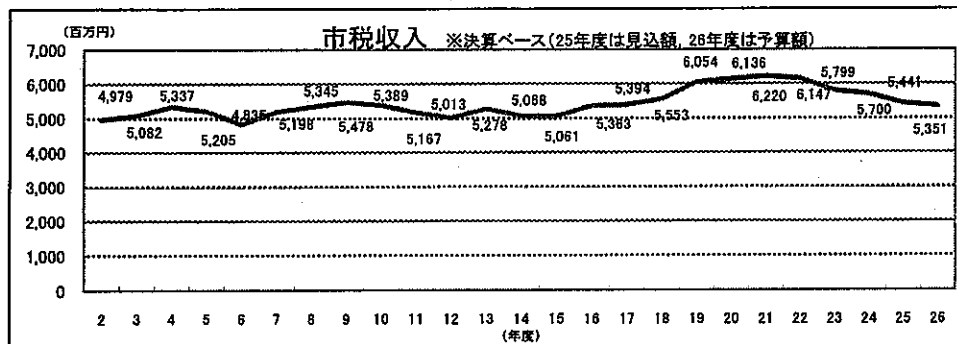
## 歳入

## 歳出

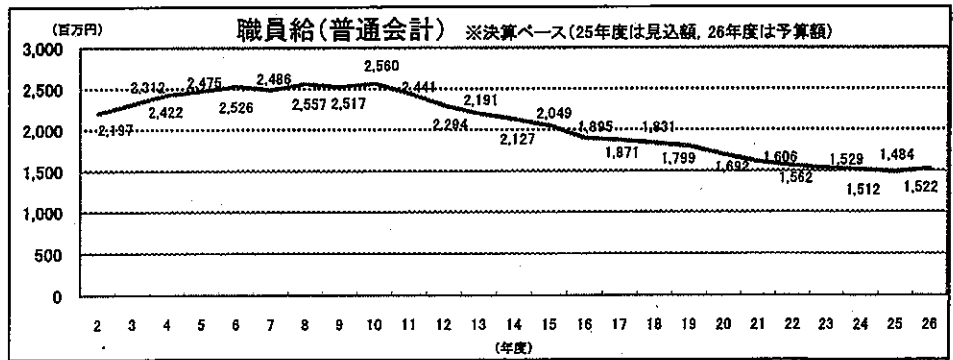
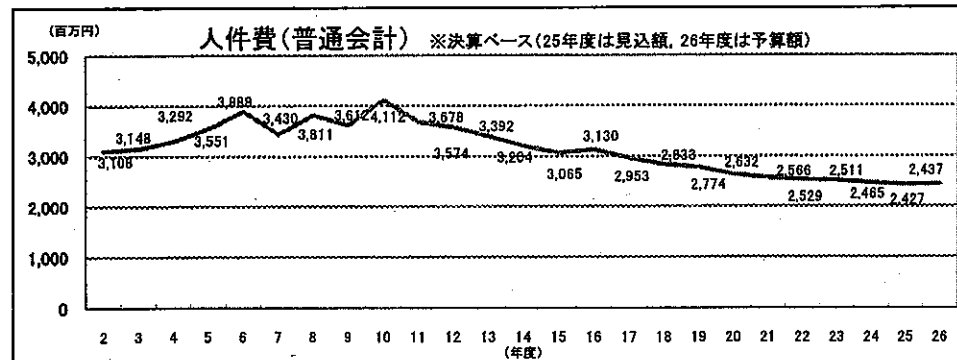


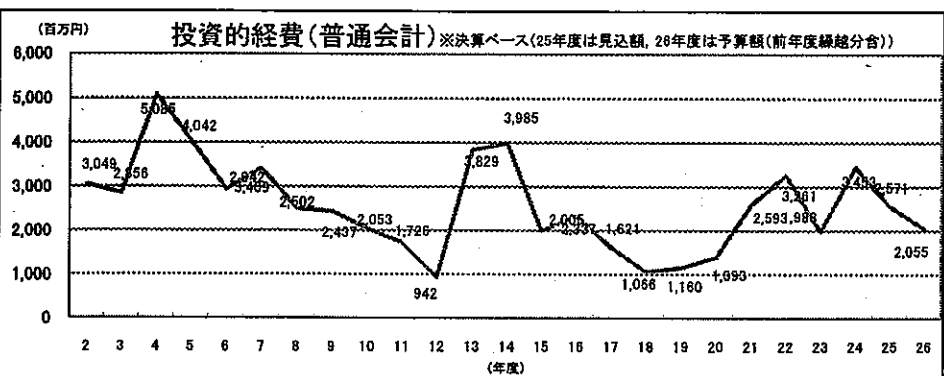
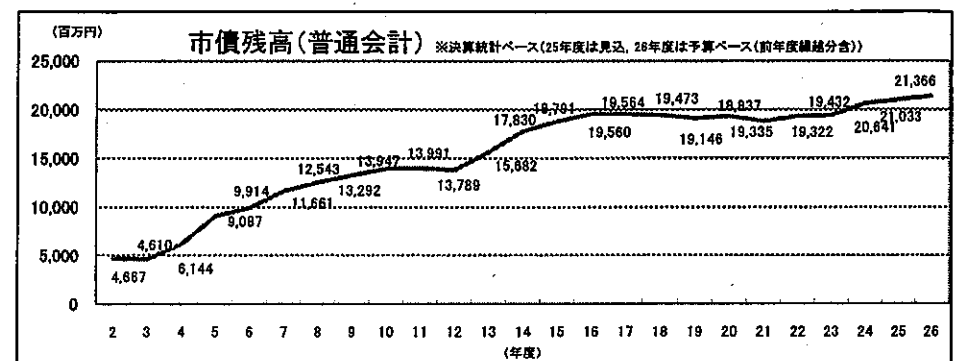
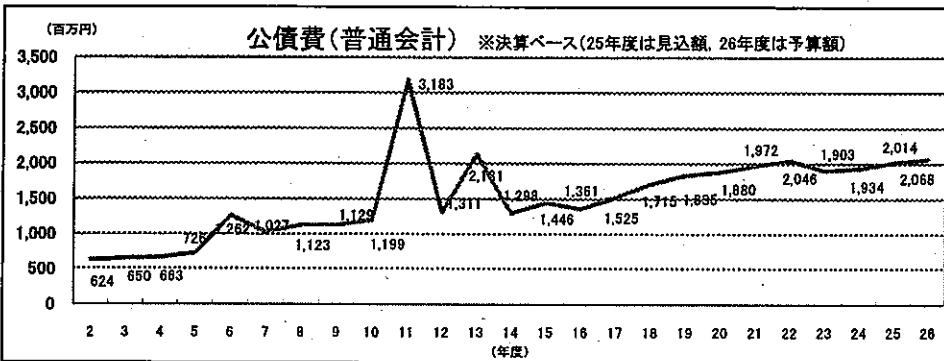
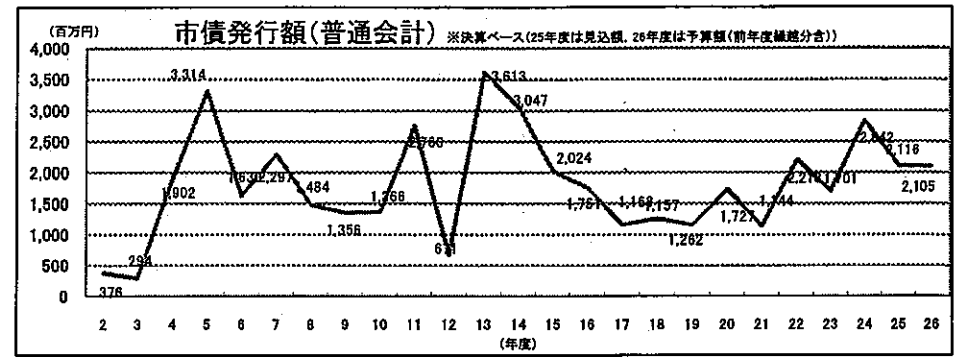
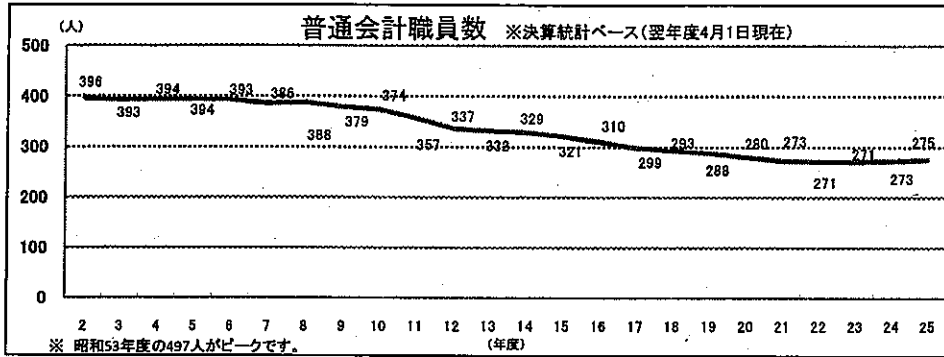
当初予算の概要 資料編(平成2年度～)

1. 歳入に関する事項

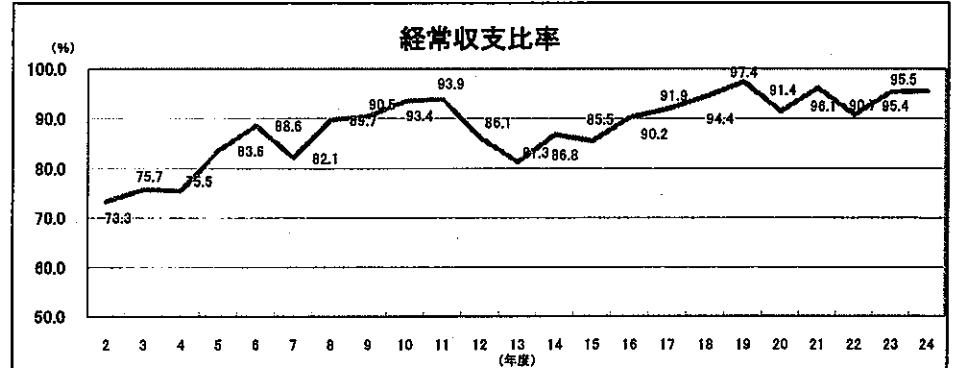


2. 歳出に関する事項





### 3. 財務指数に関する事項



# 当初予算主要事業

わがまちプランにおける【将来像】

～ 笑顔・元気 かがやく大竹 ～

事業名に 新規 …… 平成26年度に新規に行う事業です。  
事業名に 拡充 …… 制度などが前年度と比較し拡充される事業です。

## 1 大竹を愛する人づくり



地域を担う人づくり



互いを尊重し、支え合う人づくり

### 新規 読書活動推進事業

1,482 千円 予算書 141 担当 総務学事課

学校図書館に読書及び学習活動上の支援を行う「読書活動推進員」を配置することで、市内小中学校の読書及び学習環境を改善し、幅広い視野を持った心豊かな児童生徒の育成を図ります。

### 市制施行60周年記念事業

3,000 千円 予算書 45～46 担当 企画財政課・総務課

大竹市は平成26年9月1日に市制施行60周年を迎えます。この記念すべき日を迎えるにあたり、わがまちプランが目指すよいまちを創っていくための契機として、平成25年度に引き続き、「市民と行政との協働」により、様々な記念事業を行います。

市民提案事業や職員協働事業の実施などを通じて、「大竹を愛する人づくり」や「市民主体のまちづくりの推進」、「生涯元気な心と体づくり」など、わがまちプランの重点取組方向の施策を推進し、わがまちプランの将来像「笑顔・元気 かがやく大竹」の実現に市全体で取り組みます。

また、平成26年8月31日には、式典を挙げる予定です。（※事業費には職員協働事業分を含んでいません。）

### 学習環境サポート事業

18,480 千円 予算書 141 担当 総務学事課

普通学級に在籍する発達障害等の児童生徒へのサポートのため、小・中学校に学級支援員を配置します。

## 玖波小学校施設整備事業

60,200 千円 予算書 140,145 ページ 担当 総務学事課

児童と教職員の安全と適切な教育環境を確保するため、玖波小学校に耐震対策を行います。  
平成26年度は、玖波小学校改築に向けた基本設計に取り組みます。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 奨学金貸付事業

23,184 千円 予算書 141~142 ページ 担当 総務学事課

経済的な理由により修学の機会がなくなることはないよう、学資の貸付を行います。  
平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を新たに導入し、制度の充実を図っています。

## こども相談室運営事業

5,908 千円 予算書 143 ページ 担当 総務学事課

家庭などで問題を抱えながら生活している子ども・保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い自立への基礎を培います。

※ 30 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 放課後子ども教室事業(放課後子どもプラン)

3,600 千円 予算書 150 ページ 担当 生涯学習課

次世代育成支援事業として、地域や各団体・企業などと連携し、「放課後子ども教室」を開催します。地域の方々の協力を得て、放課後や週末などを利用して、子どもたちに学習機会や体験活動の場を提供します。

## 放課後児童クラブ事業(放課後子どもプラン)

32,048 千円 予算書 153~154 ページ 担当 生涯学習課

保護者が仕事等で昼間家庭にいない児童について、市内3ヶ所の「放課後児童クラブ」において、放課後や長期休暇中に遊びや生活指導を行い、仕事と子育ての両立支援を行います。

※ 30 ページの「各施設のご案内」をご覧ください



# 2 生活基盤が整ったまちづくり



地域産業の振興



暮らしやすい生活基盤の整備

## 新規 大竹市商店街街路灯LED化事業

530 千円 予算書 114 担当 産業振興課

大竹駅前商店街振興組合が国の補助金などを受けて実施する商店街街路灯のLED化事業について、組合が負担する金額の一部を財政的に支援します。維持管理費の軽減や街路灯の増設などにより、商店街の防犯対策が強化されるとともに、安心・安全なまちづくりにも貢献します。

## ひろしま森づくり事業

15,932 千円 予算書 109~110 担当 産業振興課

県土の保全や水源かん養など森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、平成19年4月から広島県が導入した「ひろしまの森づくり県民税」を財源として県民全体として守り育てる事業を推進します。  
平成26年度以降は引き続き、人工林や里山林の整備、森林の間伐、間伐材を利用した製品の購入などを行います。また、森林資源を活用した散策コースの整備なども計画しています。

## 阿多田地区漁礁整備事業

47,714 千円 予算書 111 担当 産業振興課

沿岸漁業の振興と水産物の安定供給を目的として、漁礁の設置等の基盤整備を行います。  
平成26年度は、阿多田地区の漁礁設置工事を行います。  
※事業費には事務費を含みます。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 養殖漁業技術開発支援事業

10,069 千円 予算書 111 担当 産業振興課

阿多田地区の養殖業を支援するため、流通・養殖技術・ブランドの確立について研究する費用を補助します。  
平成26年度は、阿多田島のハマチのブランド化について研究していきます。



## 産業振興奨励事業

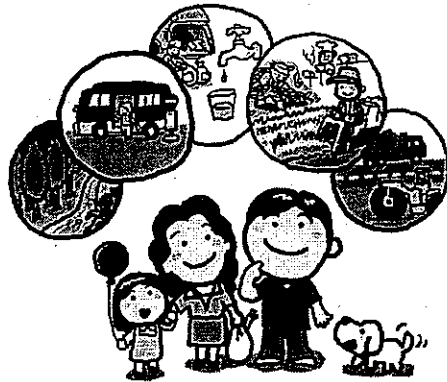
13,266 千円 予算書 114 担当 産業振興課

新たに立地や設備投資などを行った企業に対して奨励金を交付する制度により、本市への企業立地、市内企業の設備投資及び産業振興の促進を図ります。

## 中小企業経営安定支援事業

204,941 千円 予算書 114~115 担当 産業振興課

地場産業の育成や経営改善のための事業を支援します。また、中小企業者に必要な資金の融資を円滑にし、企業の信用を一層強化するとともに経済的地位の向上を図ります。中小企業経営者の負担を軽減するため、引き続き、広島県信用保証協会の保証料の一部を市が負担します。



## 地域公共交通整備事業(総合連携計画部分)

43,951 千円 予算書 50 担当 自治振興課

市民、事業者、行政等で構成する大竹市地域公共交通活性化協議会で策定した「大竹市地域公共交通総合連携計画」に基づき事業を展開します。

計画の基本方針である「住民自らが守り育てる」という視点を大切に、地域のみなさんと一緒に考えながら進めていきます。

具体的には、本格運行中の「こいこいバス」や「三ツ石地区乗合タクシー」をはじめ、既存の栗谷線・坂上線、広原・谷和タクシーへの助成を行います。また、実証運行中の3つのフィーダー(支線)交通(栄ぐるりんバス・湯舟のりあいタクシー・ひまわりタクシー)については、運行状況等を検証し、必要に応じて見直しを行い、本格運行への移行を目指した取り組みを進めます。

必要に応じて既存路線の見直しや、新たなフィーダー交通の検討・導入などを進めながら、市民生活の利便性の向上とまちの活性化に向けて、移動環境を整備します。

## 斎場改修事業

48,375 千円 予算書 91 担当 環境整備課

安定した斎場の運営を行うため、老朽化した通風設備や制御盤などの火葬炉設備を改修します。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 県道改良事業(県営事業負担金)

11,000 千円 予算書 122 担当 監理課

県道の整備を行います。施工中の大竹湯来線及び栗谷大野線の道路改良を行う予定です。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

## 港湾整備事業(県営事業負担金)

32,334 千円 予算書 125 担当 監理課

広島県の施設である大竹港の整備を行います。平成26年度は、護岸工、排水機場改良(御幸地区)及びフェンス設置工、道路反射鏡設置工など(東栄地区)を行う予定です。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

【土地開発公社】

## 岩国大竹道路用地取得事業

担当 監理課

引き続き、岩国大竹道路建設に伴う用地の先行取得に国と協力して取り組みます。  
(※国の事業のため、事業費は計上していません)

## 住宅・建築物耐震診断・改修補助事業

1,100 千円 予算書 118 担当 都市計画課

平成21年度に策定した耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に着工された市内の戸建住宅の耐震改修を促進するため、耐震診断及び耐震改修の助成を行います。耐震診断費用の2/3(上限3万円)・耐震改修費用の一部を補助します。

## 大竹駅東口広場整備事業

51,480 千円 予算書 127 担当 都市計画課

大竹駅を橋上駅化し、JR山陽本線で分断されている中心市街地の東西間を跨線橋(こせんきょう)の自由通路で結び、さらに駅東口側に交通広場を整備をする計画です。平成23年度に策定した「大竹駅周辺整備新構想」に基づき、併せて橋上駅舎の整備を行い、駅のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を行っていきます。26年度は、駅舎等基本設計、計画協議を行います。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 南栄下白石線外1路線道路改築事業

28,200 千円 予算書 127~128 担当 都市計画課

元町、本町、白石地区から国道186号及び国道2号へのアクセス道路を整備します。交通ネットワークを構築するとともに、沿道周辺における健全な市街地の整備及び良好な住環境の創出を促します。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 晴海臨海公園整備事業

408,770 千円 予算書 129 担当 都市計画課

子どもから高齢者まで多様な人々が、スポーツやレクリエーションなどを憩い楽しめるような、隣接する商業地区と一体となった公園を整備します。

平成26年度は、25年度に引き続き、野球場・テニスコート・管理棟・トイレ棟などを整備します。

※ 事業費には事務費を含みます。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## さかえ公園整備事業

14,000 千円 予算書 129 担当 都市計画課

昭和46年の供用開始から40年以上経過し、公園施設は老朽化しています。平成25年度に利用者である地域住民の思いや意見、アイデアを伺うワークショップを開催し、改修計画検討を行いました。26年度は、この計画案を基に実施設計を行い、27年度以降、順次工事を行う予定です。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 御園市営住宅整備事業

38,000 千円 予算書 131 担当 都市計画課

高齢者対策等住宅施策に対応した住戸を整備します。平成26年度は、宅地造成設計及び建築基本設計を行います。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 住宅リフォーム補助事業

6,000 千円 予算書 130~131 担当 都市計画課

子ども、高齢者、障害者及びその同居者の住居内での事故防止、負担軽減、団らんなど生活環境の向上を図ることにより安全に安心して快適に住み続けられるよう、子育て世帯、高齢者世帯、障害者世帯の住宅リフォームに要する費用の一部を助成します。

## 玖波駅西口及び玖波36号線道路改良事業

224,271 千円 予算書 118,122 担当 土木課

JR玖波駅西口に改集札口を設けるための駅舎建築及び敷地の造成工事、駅西口広場の整備工事と併せ、西口広場と県道を接続する狭小道路の拡幅改良工事を行います。

※事業費には事務費を含みます。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 橋りょう長寿命化対策事業

11,302 千円 予算書 121 担当 土木課

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い市道橋2橋について、橋りょうの修繕等のための実施設計を行います。

※事業費には事務費を含みます。

## 市道改良事業

41,873 千円 予算書 122 担当 土木課

交通の安全と道路環境の整備を図るため、市内各地の市道について補修・改良などを行います。		
新町白石1号線	18,500 千円	通学路の安全対策のため、大竹会館前の歩道未整備区間について歩道整備を行います。
本町元町1号線	9,500 千円	元町3,4丁目地区内の道路の側溝改良を行い、排水機能の向上及び暗渠化による道路幅員の有効利用を図ります。
青木線	7,280 千円	道路改良用地などの買収を行います。
測量設計委託料等	6,593 千円	市道改良などに必要な測量及び設計を行います。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

### 【公共下水道事業会計】

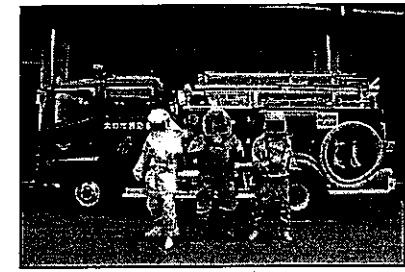
## 防鹿地区公共下水道整備事業

32,000 千円 公共下水道事業会計予算書 127 担当 上下水道局

居住環境の改善や公衆衛生の向上を図るため、防鹿地区の下水道整備を行います。当該事業により、公共下水道事業計画区域内における整備が、ほぼ完了します。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

# 3 安全なまちづくり



防災・防犯・交通安全の対策

救急・防災体制の充実

## 新規 救急搬送用船舶改修補助事業

2,000 千円 予算書 135 担当 消防本部

阿多田島で発生した救急患者の搬送業務に利用する船舶の搬送時における救急患者の負担を軽減するための改修に対して、補助を行います。

## 拡充 水防体制整備事業

2,723 千円 予算書 137 担当 総務課

災害時に市民が安心して避難できるよう、指定の避難所に適応できる災害の種類を表示した案内看板を設置します。また、水防活動に必要な資機材を整備します。

## 防災訓練実施事業

200 千円 予算書 138 担当 総務課

市民及び防災関係機関が相互に連携・協働した訓練などを実施し、防災意識の高揚を図ります。

## 消費者生活相談業務(大竹市消費生活センター)

4,049 千円 予算書 113 担当 産業振興課

架空請求、訪問販売、インターネット販売上でのトラブル、クーリングオフ相談など、専門相談員が消費生活に関する相談に応じるとともに、消費生活問題の啓発・PRを行い、トラブルを未然に防ぐよう努めます。

※ 31 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 急傾斜地崩かい対策事業(県営事業負担金)

500 千円 予算書 124 担当 監理課

栗谷地区の急傾斜地崩かい対策事業を行います。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

## 水路改良事業

22,600 千円 予算書 124 担当 土木課

元町南栄排水路について、護岸改修が必要な下流区域の工事を行うことにより、河川機能の保全に努めるとともに、市内各地の水路などの補修・改良などを行います。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 急傾斜地崩かい対策事業

9,761 千円 予算書 124 担当 土木課

急傾斜地崩かい危険個所において、住宅地背後の崖面崩かいを防止するための擁壁等を設置することにより、土砂災害から市民の生命を守り、安全で住みやすい生活環境の整備を図ります。

平成26年度は、木野地区において崩かい対策工事を実施します。

※事業費には事務費を含みます。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 化学機動隊資機材整備事業

769 千円 予算書 135 担当 消防本部

重大な化学災害に対応するため、専門知識を持った精鋭部隊「化学機動隊(大竹ハズマツ)」が使用する資機材を整備します。万が一重大な災害が発生した場合、市民の安全を確保し、安心して暮らせるまちを構築することを目指します。

### 消防車両整備事業

89,365 千円 予算書 134 号 担当 消防本部

老朽化した消防署に配備されている救助工作車を、ポンプ機能を搭載したポンプ付救助工作車に更新します。

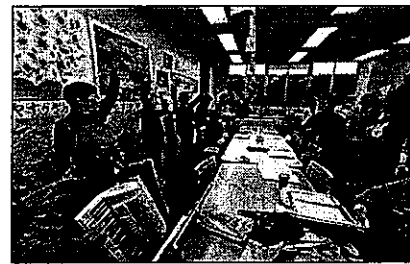
### 消防団車両整備事業

6,783 千円 予算書 137 号 担当 消防本部

老朽化した第2分団（本町地区）の小型動力ポンプ積載車を更新します。



## 4 安心できるまちづくり



心が触れ合う福祉の充実

生涯元気な心と体づくり

### 新規 妊産婦歯科健康診査事業

1,068 千円 予算書 92 号 担当 社会健康課

妊産婦自身の口腔内の衛生状況を健康に保つとともに、生まれてきた子どものむし歯のリスクを下げるため、妊娠中、産後の妊産婦の歯科健康診査を実施します。  
口腔衛生への関心を高めて生涯健康な歯をつくるきっかけとなることを目指します。

## 新規 臨時福祉給付金支給事業

103,139 千円 予算書 65～66 担当 社会健康課

平成26年4月から実施される消費税率の引き上げに際し、生活に不可欠な食料品の支出割合が高いと思われる低所得者への対策として、給付対象者一人につき1万円を支給します。

## 新規 子育て世帯臨時特例給付金支給事業

39,442 千円 予算書 74 担当 福祉課

平成26年4月から実施される消費税率の引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、対象児童一人につき1万円を支給します。

## 新規 病児・病後児保育運営事業

8,950 千円 予算書 77～78 担当 福祉課

独立行政法人国立病院機構広島西医療センター内において、市内に住所がある、または保護者が市内の事業所に勤務する、満1歳以上から小学校3年生までの病児・病後児の児童に対する保育を行います。

## 拡充 健康増進事業

92,685 千円

社会健康課

生活習慣病やその他の心身の健康に関する事項について、正しい知識の普及により市民の健康意識を高めるとともに、医療機関等と連携して市民の健康の保持及び増進を図ります。

一般健診、肝炎ウイルス検診事業【予算書86～87】	8,521 千円	生活習慣病の予防や疾病等の早期発見・早期治療を促進するため、後期高齢者等を対象として一般健康診査を、満40歳以上で過去に肝炎ウイルス検診未受信者を対象として肝炎ウイルス検診を実施します。
拡充 がん検診事業【予算書86～87】	24,010 千円	がんの早期発見・早期治療を促進するため、満40歳以上の方（子宮頸がんは満20歳以上）を対象にがん検診を実施します。また、大腸がん検診は、自己負担額を無料とします。子宮頸がん・乳がん検診については、がん検診推進事業の対象の方に対して無料クーポン券を配布します。
拡充 【国民健康保険特別会計】 特定健康診査・特定保健指導【予算書210】	37,448 千円	40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対して、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診及び保健指導を実施し、生活習慣病の予防、改善を図ります。また、特定健康診査をより受けやすい健診にするため、自己負担額を無料とします。
新規 健康手帳配付事業【予算書86】	1,728 千円	「自分の健康は、自分で守る。」意識の醸成を行うため、健康診査の受診記録などをまとめておける手帳を配付します。
健康相談事業【予算書86】	121 千円	健康診査の事後措置として、保健師や栄養士による個別相談を行い、病気の発生や重症化の予防を図ります。
訪問指導事業【予算書86】	72 千円	保健師などによる家庭への訪問指導を行い、健康に関する問題を総合的に把握し、生活改善などの必要な指導を行うことで、疾病の予防を図ります。
健康教育事業【予算書86～87】	317 千円	生活習慣病などの疾病を予防するため、講座や講演会、パンフレット配付などによる啓発を通じて、健康に関する正しい知識の普及を図ります。

後期高齢者医療人間ドック・脳ドック事業 【予算書86～87号】	2,624 千円	後期高齢者医療被保険者に対して、人間ドック・脳ドックの検診費用の一部を助成し、生活習慣病の予防及び疾病などの早期発見並びに早期治療を図ります。
【国民健康保険特別会計】 国民健康保険人間ドック・脳ドック事業 【予算書211号】	12,630 千円	国民健康保険被保険者に対して、人間ドック・脳ドックの検診費用の一部を助成し、生活習慣病の予防及び疾病などの早期発見並びに早期治療を図ります。
【一般会計・国民健康保険特別会計】 糖尿病対策推進事業 【予算書86, 211～212号】	5,214 千円	脳卒中や心臓病など命に関わる病気のほか、失明や人工透析など日常生活に重大な支障をもたらす病気を発症させる原因となる糖尿病の予防又は重症化を防止することにより、市民の健康の保持及び増進を図るとともに医療費の増大を抑制します。

**拡充 健康づくり・介護予防一体推進事業**

**25,740 千円**

担当 社会健康課・保険介護課

健康づくりのや介護予防の取り組みを、様々な教室やプログラムを通じて一体的に行うことにより、介護が必要な方の自立支援を強化するとともに、健康的な市民生活の維持・促進につなげます。		
【国民健康保険特別会計】 ヘルスアップ事業 【予算書212号】	2,877 千円	日常生活に運動を取り入れ、健康的な生活が送れるように運動教室などを実施します。
<b>拡充</b> 【介護保険特別会計】 介護予防事業 【予算書293～294, 296～297号】	22,863 千円	筋力トレーニングや栄養指導などの介護予防に重点を置くことで、介護が必要な状態になることを防ぎ、できる限り自立した生活が送れるよう支援します。

**救急医療施設人材(助産師等)育成支援事業**

**682 千円** 予算書 85 号 担当 社会健康課

広島西二次保健医療圏（大竹市・廿日市市）の拠点病院であるJA広島総合病院の産科医療体制などを充実させるため、不足している助産師及び看護師を育成・確保する同病院実施の人材確保事業（奨学金制度）に対して補助を行います。

**予防接種推進事業**

**67,249 千円** 予算書 85～86 号 担当 社会健康課

麻疹、風しんやポリオなどの人から人へ感染する恐れがある感染症の発生や蔓延を予防するため、予防接種を実施します。また、個人の感染防衛及び重症化予防のため、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチン接種などを実施します。

**在宅寝たきり高齢者等訪問歯科診療促進事業**

**2,554 千円** 予算書 87 号 担当 社会健康課

寝たきりの方にとって、食事を自分で噛んで食べることが、栄養面で身体機能の維持に大きく影響することから、歯科医師による訪問歯科健康診査や、歯科衛生士による口腔ケアなどを行い、全身状態の改善や生活自立の向上を図ります。



## 妊婦乳幼児健康診査事業

21,462 千円 予算書 85, 91~92 担当 社会健康課

妊婦並びに乳幼児の健康の保持・増進を図るため、妊婦健康診査並びに乳幼児健康診査の受診券を配付します。異常の早期発見を促すとともに、一層の母子の健康維持・増進を図ります。

## 妊産婦健康診査等支援事業

4,884 千円 予算書 85, 92 担当 社会健康課

大竹に暮らしながら、安心して出産に備えることができるよう、出産費用などの一部を助成します。妊婦健康診査の受診回数に応じて助成することにより、妊婦健康診査の受診を促し、より安全な出産が行えるように支援します。

## 障害者基本計画等策定業務

3,100 千円 予算書 66~67 担当 福祉課

障害者の自立及び社会参加の支援などの施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、市が講ずる障害者施策全般に関する基本的・総合的な計画を策定します。

## 子ども・子育て計画策定事業

3,470 千円 予算書 73 担当 福祉課

平成27年4月から始まる子ども・子育て支援新制度の実施にあたり、アンケート調査及び関係機関などの意見を参考にして、子ども・子育て支援事業計画を策定します。

## 家庭児童相談事業

7,276 千円 予算書 78~79 担当 福祉課

0歳から18歳未満の児童における養護、障害、非行、育成などの問題について、専門知識を有する相談員が相談・助言を行います。

※ 30 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 子育て支援センター運営事業

16,146 千円 予算書 79~81 担当 福祉課

地域全体で子育てを支援する環境づくりを行う拠点として、子育て支援センター（どんぐりHOUSE）、さかえ子育て支援センター、松ヶ原こども館があります。育児不安に対する相談指導や子育てサークルなどの育成・支援を行います。

※ 30~31 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業

6,500 千円 予算書 63 ページ 担当 保険介護課

平成27年度から29年度までの3年間の計画期間とする『高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画』を策定します。この計画では、3年間に見込まれる介護サービス利用量の推計を行うとともに、地域包括ケア推進に向けた取り組みや目標などを定めます。

## ゆうあいの里改修事業

46,600 千円 予算書 70 ページ 担当 保険介護課

老朽化に伴い、全面的な屋根防水・外壁改修工事を行うことにより、入所者の居住環境の向上を図ります。

※ 29 ページの「平成26年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 乳幼児等医療費助成事業

47,216 千円 予算書 74～75 ページ 担当 保険介護課

乳幼児及び小学生に対する医療費の自己負担額の一部を助成することにより、疾病の早期発見と治療の促進を図り、乳幼児などの健やかな成長を促します。県制度の改正に準じて、平成16年10月から入院・通院ともに一部負担制を導入し、対象を段階的に拡大してきました。

平成22年度からは、入院・通院ともに小学校卒業までを対象としています。

【介護保険特別会計】

## 地域密着型サービス事業

460,754 千円 予算書 292 ページ 担当 保険介護課

介護が必要な方がなじみの地域で生活できるようなサービスを提供します。基本的に、大竹市民のみが利用可能な介護保険の対象事業所・施設で行われるサービスです。

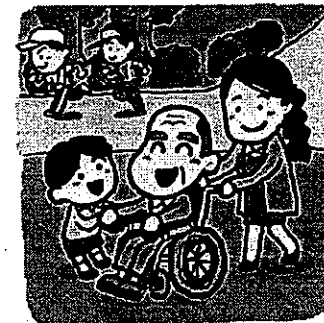
【介護保険特別会計】

## 地域包括支援センター運営事業

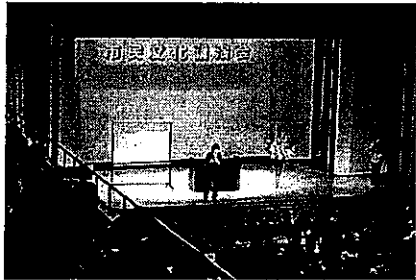
30,035 千円 予算書 295 ページ 担当 保険介護課

地域の高齢者に対して、介護が必要な状態にならないよう介護予防ケアマネジメント、介護保険外のサービスを含む高齢者や家族への総合的な相談・支援を行ったり、高齢者の虐待防止などの権利擁護を行うほか、ケアマネジャーへの支援などを行います。

※ 31 ページの「各施設のご案内」をご覧ください



# 5 心にゆとりを感じるまちづくり



心の豊かさを育む取り組み

大竹らしさを育む文化と交流

きれいで快適なまちづくり

## 環境美化推進事業

3,000 千円 予算書 87 担当 環境整備課

きれいで快適なまちづくりを推進するため、地域に密着した環境美化活動に取り組んでいる「公衆衛生推進協議会」の活動を引き続き支援します。ごみステーションの維持・管理をはじめ啓発看板の配付や花いっぱい運動などの事業への取り組みを支援します。

## 地域不法投棄対策事業

11,558 千円 予算書 88 担当 リサイクルセンター

地域の快適な生活環境を守るため、自治会連合会、公衆衛生推進協議会、警察署及び庁内関係課との緊密な連携を図るとともに、地域住民の皆さんの協力を得ながら、不法投棄防止の諸施策を積極的に推進します。

このため、不法投棄の防止に向けた広報・啓発活動や監視パトロールの強化、既設の監視カメラの設置効果等の検証による計画的・実効的な増設などに取り組みます。

また、公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

## ごみ減量化・資源化促進事業

16,420 千円 予算書 97～99 担当 リサイクルセンター

一般家庭から排出されるごみの減量化を図ることなどを目的に、平成25年10月から「もやすごみ」及び「粗大ごみ」にごみ処理手数料を導入しました。今後、ごみを出さない（リデュース）、ごみを再使用する（リユース）、ごみを資源として再生利用する（リサイクル）の3Rの実践について、広く周知・啓発するなどの取り組みを積極的に推進します。

具体的には、「ごみ収集カレンダー」や「家庭ごみの分別ガイド」を活用しての適正な分別の徹底や資源としての有効活用について、市広報への掲載などを通じての働きかけや生ごみ処理容器の普及・促進などにより、家庭ごみの減量化に取り組めます。

## 市民文化講演会

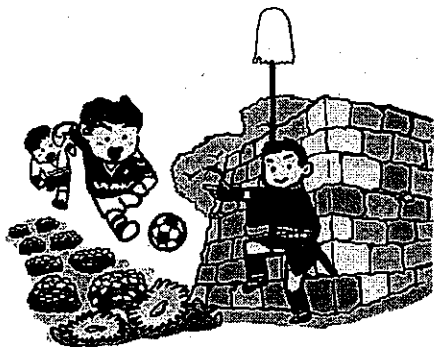
1,620 千円 予算書 150 分 担当 生涯学習課

現代社会における課題や大竹市が抱える課題の解決のヒントになるような講師を招き、今後のまちづくり・ひとづくりに繋がる講演会を行います。

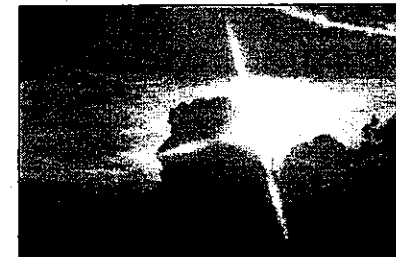
## 小方学園プール開放事業

2,975 千円 予算書 164~165 分 担当 生涯学習課

小方学園の屋内プールを広く市民に開放し、市民の健康増進と水泳振興を図ります。



# 6 行政・社会の仕組みづくり



市民自治の促進

健全な行財政運営の推進

## 新規 番号制度システム整備事業

37,800 千円 予算書 47 分 担当 企画財政課

社会保障・税番号制度の導入により、平成27年10月から個人番号通知が、28年1月から番号利用が、それぞれ開始される予定です。これに対応するため、既存住基システムの改修を26年度中に、税務システムなどの改修を26年度から27年度にかけて行います。

(システム改修への支援として、国庫補助措置や普通交付税及び特別交付税措置があります。)

## 土地造成支援事業

222,246 千円 予算書 119 担当 企画財政課

大竹工業団地に立地した工場に賦課される固定資産税額に相当する額及び小方ヶ丘の土地・家屋・償却資産に係る固定資産税額に相当する額の26.5%と従来支援分(95,800千円)を大願寺地区土地造成事業の円滑な推進のため土地造成特別会計へ繰り出します。

## 協働のまちづくり推進事業

5,519 千円 予算書 45 担当 自治振興課

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業を公募し、助成を行うことにより、市民活動の自主性の向上を図ります。

平成26年度は25年度に引き続き、施設整備などのハード事業も対象とします。

## 地区集会所等整備補助事業

2,721 千円 予算書 48 担当 自治振興課

コミュニティ活動の拠点である自治会が設置する地区集会所の整備を支援することで、コミュニティ活動を促進し市民自治の振興を図ります。

また、地区集会所だけでなく、自治会が所有している施設・設備などについても、地域住民が主体的に補修(新設を含む)する場合は、原材料費を補助します。

## コミュニティづくり推進事業

11,160 千円 予算書 48 担当 自治振興課

地域の連帯を深め、住みよい地域社会の形成に向けて取り組んでいるコミュニティづくり推進協議会の活動に対して助成を行います。

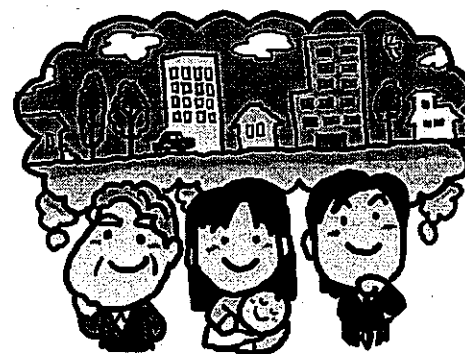
「コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ」の開催を支援するとともに、市民発信型の事業運営を目指した取り組みを進めます。

また、宝くじの財源を活用し、コミュニティ推進団体が行う備品の整備に対して補助します。

## 土地開発公社経営健全化事業

19,120 千円 予算書 118 担当 監理課

土地開発公社が保有する土地の簿価上昇抑制のため、債務保証対象土地などに係る借入金の利子補給を行います。



# 7 住みたい、住んでよかったと感じるまち

**新規** 広島県緊急雇用対策基金事業(地域人づくり事業)

15,800 千円 予算書 103 担当 産業振興課

中小企業に対して適切な経営指導・相談などの業務を担う人材や、水産物の消費拡大及び販売促進を担う人材について、大竹商工会議所や漁業協同組合で新たに職員を雇用し育成します。

また、地元中小企業の在職者に対する賃金上昇などの処遇改善を図るため、経営改善や技術習得のための講習会などを開催します。

## ケーブルテレビ施設利用促進助成事業

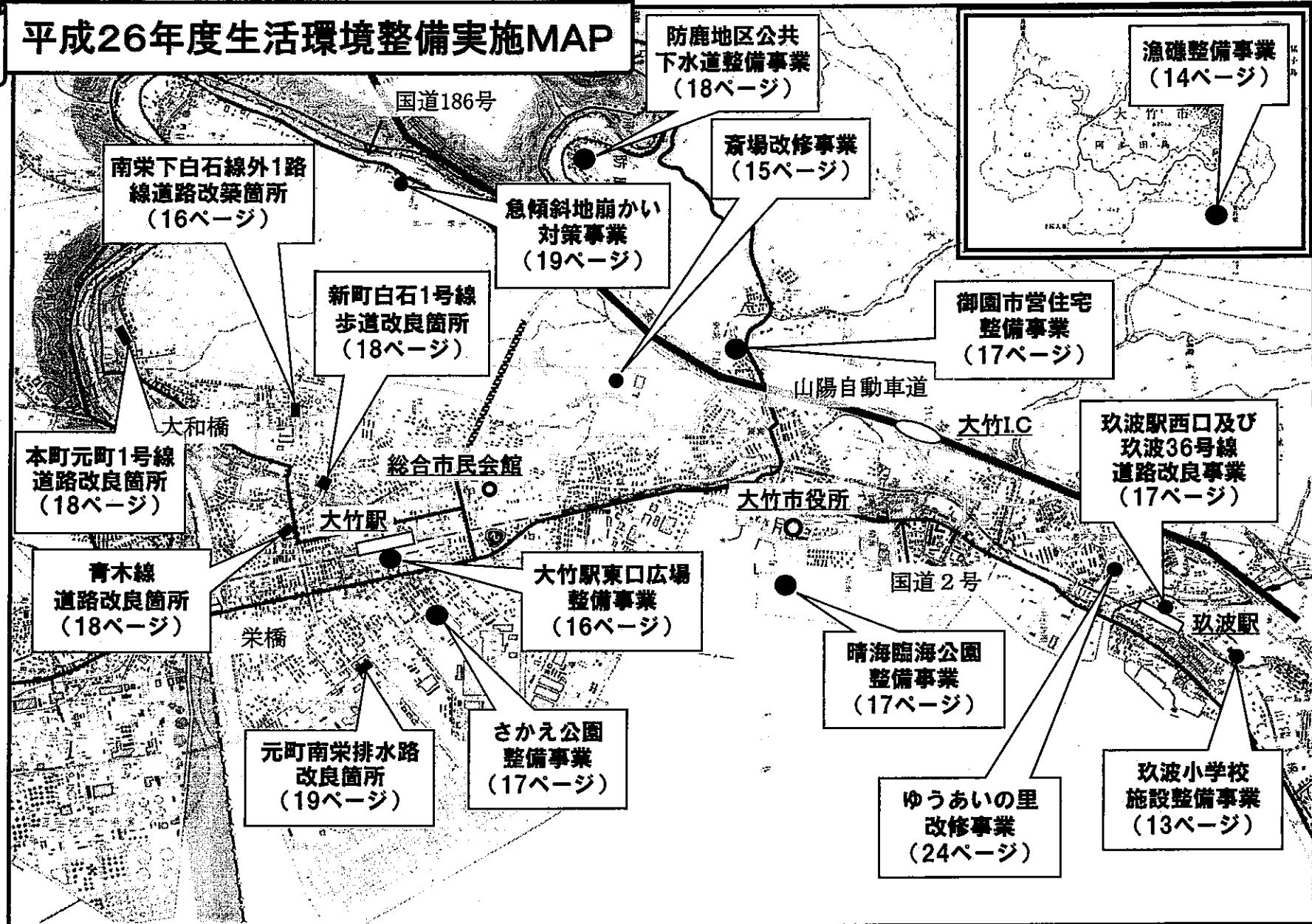
1,500 千円 予算書 51 担当 企画財政課

定住対策に加え、「生活基盤が整ったまちづくり」推進のために整備した情報基盤をより有効に活用するため、ケーブルテレビへの加入に対する助成を行います。

また、市内での新築(建替含む)にあわせてケーブルテレビに新規加入する場合には、初期費用の一部を補助します。



# 平成26年度生活環境整備実施MAP



## 各施設のご案内

### 放課後児童クラブ

13ページ

- ・あすなろ児童クラブ（玖波七丁目1-1（玖波小学校内））
- ・みどり児童クラブ（小方ヶ丘1-2（小方学園内））
- ・ひかり児童クラブ（白石二丁目1-2（大竹小学校内））

【対象】 市内小学校1～3年生であって、保護者が仕事等の理由により昼間家にいない児童、及びこれに順ずる児童（この規定にかかわらず特例あり）

【利用時間】 ≪平日≫ 下校時～18時

≪土曜・長期休暇（春・夏・冬休み）≫ 8時～18時

【問い合わせ先】 生涯学習課青少年育成係（Tel.53-5800）

### 大竹市こども相談室

13ページ

≪相談業務≫ いじめ、不登校などの教育に関する相談、子どもの性格上の問題、非行、児童への虐待などの子どもについての様々な相談に応じます。

≪適応指導≫ 学校と家庭の中間的な役割を担い、児童・生徒の学習する場の提供や、自立に向けたきめ細やかな支援を行います。

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】 月～金曜日の8時30分～17時15分

【電話】 54-0021（こども相談室）

### 大竹市家庭児童相談室

23ページ

≪相談業務≫ 家庭で養育困難な児童の養護、障害、非行、育成に関する、0歳から18歳未満の子どもについての様々な相談に応じます。

【場所】 大竹市小方一丁目11-1（大竹市役所内）

【利用時間】 月～金曜日の9時～16時

【電話】 59-2151（家庭児童相談室）  
59-2148（福祉課児童係）

### 子育て支援センター「どんぐりHOUSE」

23ページ

【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】 月～金曜日 10時～16時30分

【問い合わせ先】 子育て支援センター（Tel.54-0021）  
福祉課児童係（Tel.59-2148）



## 各施設のご案内

### さかえ子育て支援センター

23ページ

- 【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方  
【場所】 大竹市西栄三丁目12-25(さかえ保育所敷地内)  
【利用時間】 月～金曜日 10時～16時30分  
【問い合わせ先】 さかえ子育て支援センター(Tel.53-9766)福祉課児童係(Tel.59-2148)

### 松ヶ原こども館

23ページ

- 【対象】 乳幼児・小中学生と保護者、子育てボランティアの方  
【場所】 大竹市松ヶ原町445-2  
【利用時間】 月・水・金曜日 10時～16時(※臨時休館日有り(月1～2日程度))  
【問い合わせ先】 松ヶ原こども館(Tel.57-8333)福祉課児童係(Tel.59-2148)  
【ホームページアドレス】 (パソコンから) <http://honobonon.client.jp/> (携帯電話から) <http://honobonon.client.jp/mobile/>

### 大竹市地域包括支援センター

24ページ

- 《事業内容》 ○要介護認定で「要支援1・2」と認定された方や二次予防対象者の介護予防ケアプランの作成などの介護予防ケアマネジメント  
○高齢者や家族に対する総合的な相談・支援事業(介護保険外のサービスを含む)  
○高齢者に対する虐待の早期発見・防止、成年後見制度の活用などの高齢者の権利擁護事業  
○関係機関や地域における連絡・協力体制の構築と支援困難事案のケアマネジャーへの支援  
【場所】 大竹市西栄二丁目4-1(総合福祉センター(サントピア大竹)内)  
【利用時間】 月～土曜日の8時30分～17時15分 【電話】 53-1165(地域包括支援センター)

### 大竹市消費生活センター

19ページ

- 《相談業務》 訪問・通信・電話勧誘販売等による売買・契約に関するトラブル、はがき、携帯電話、インターネットを使った不当・架空請求、その他消費生活全般、クーリングオフについての相談など  
【場所】 大竹市小方一丁目11-1(大竹市役所内)  
【受付時間】 火・金曜日 9時～12時、13時～16時  
【電話】 57-3236(消費生活センター)

## ◇問い合わせ先一覧◇

総務部	
総務課 《Eメール》	総務係 59-2120
	防災係 59-2119
	職員秘書係 59-2122
soumu@city.otake.hiroshima.jp	
企画財政課 《Eメール》	企画係 59-2125
	財政係 59-2121
	広報統計係 59-2124
kikaku@city.otake.hiroshima.jp	
産業振興課 《Eメール》	農林水産振興係 59-2130
	商工振興係 59-2131
	sangyo@city.otake.hiroshima.jp

市民生活部	
自治振興課 《Eメール》	自治振興係 59-2142
	人権推進係 59-2145
jichishinko@city.otake.hiroshima.jp	
市民税務課 《Eメール》	収税係 59-2127
	市民税係 59-2128
	固定資産税係 59-2129
	戸籍住民係 59-2143
shiminzeimu@city.otake.hiroshima.jp	
環境整備課 《Eメール》	環境整備係 59-2154
	kankyo@city.otake.hiroshima.jp
	リサイクルセンター 52-5101
kankyo-rc@city.otake.hiroshima.jp	

健康福祉部	
福祉事務所	
社会健康課 《Eメール》	社会係 59-2152
	保健予防係 59-2140
	健康増進係 59-2153
	syakaikenko@city.otake.hiroshima.jp
福祉課 《Eメール》	障害福祉係 59-2146
	児童係 59-2148
	保護係 59-2147
fukushi@city.otake.hiroshima.jp	
保険介護課 《Eメール》	国保年金係 59-2141
	介護高齢者係 59-2144
hokenkaigo@city.otake.hiroshima.jp	

建設部	
監理課 《Eメール》	庶務係 59-2160
	用地係 59-2161
kanri@city.otake.hiroshima.jp	
土木課 《Eメール》	管理係 59-2163
	維持係 59-2164
	工務係 59-2165
doboku@city.otake.hiroshima.jp	
都市計画課 《Eメール》	計画整備係 59-2167
	建築住宅係 59-2168
toshikei@city.otake.hiroshima.jp	

教育委員会事務局	
総務学事課 《Eメール》	教育総務係 59-2184
	教育指導係 59-2185
	こども相談室 54-0021
	給食センター 57-7626
sougaku@city.otake.hiroshima.jp	
生涯学習課 《Eメール》	社会教育係 53-5800
	青少年育成係
	施設スポーツ係 53-6677
seigaku@city.otake.hiroshima.jp	

消防本部 《Eメール》	53-7708	shoubou@city.otake.hiroshima.jp
----------------	---------	---------------------------------

選挙管理委員会事務局 《Eメール》	59-2188	senkyo@city.otake.hiroshima.jp
----------------------	---------	--------------------------------

監査事務局 《Eメール》	59-2189	kansa@city.otake.hiroshima.jp
-----------------	---------	-------------------------------

農業委員会事務局 《Eメール》	59-2190	nougyo@city.otake.hiroshima.jp
--------------------	---------	--------------------------------

上下水道局 《Eメール》	業務課 59-2191
	工務課 59-2192
jougesui@city.otake.hiroshima.jp	

議会事務局 《Eメール》	議事係 59-2183
	庶務係
gikai@city.otake.hiroshima.jp	

会計課 《Eメール》	59-2182	kaikai@city.otake.hiroshima.jp
---------------	---------	--------------------------------

【代表電話】

59-2111

【FAX】

57-7130(本庁)

【Eメールアドレス(代表)】

info@city.otake.hiroshima.jp

【ホームページアドレス】

http://www.city.otake.hiroshima.jp